

事業者向け 放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	
環境・ 体制設備	1	利用者定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用者の定員数から考えると適切ではあると思うが、広いスペースがあると雨の日や長期休暇等、もっと広いスペースがあれば、良いと思う。 トイレが男女が別であるといい。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			定員数に合った、職員数は満たしているが、特に長期休暇等、ボランティアの方を募集したり、法人内より、応援を呼んだりして対応している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	改修はしてきたが、放デイのために建築された建物ではないので、完全ではない。 車椅子を利用している方もいる為、段差があるところに、簡易スロープを設置している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員全員の参加を基本としている。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者より評価表をつけてもらい、集計し改善へ向けて会議を行なった。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			現在、公開中。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか	○			理事会で、第3者を招いて評価を頂いている。
	8	職員の資質向上を行なうために、研修の機会を確保しているか	○			法人内の研修や、市内外各所で行なわれる児発や放デイの研修に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行ない、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか				利用者の方や、保護者の方の意見を参考に作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか				
	11	活動プログラムの立案をチームで行なっているか	○			常に職員間で、相談しプログラムを作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		基本的な活動の流れは、決まっている。 その日の利用者数や利用時間等を見ながら、プログラムを作成している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか			○	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行なわれる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行なわれる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			勤務体制の問題もあり、職員の終業時間が統一されていないため、児発と放デイの合間に会議を行なっている。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日個人日誌をつけて、記録している。
	18	定期的にモニタリングを行ない、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6ヶ月に1回モニタリングを行ない、計画の見直しを行なっている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との関係	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	21	学校と情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行なっているか	○		学校とは保護者を通して行なったり、学校への送迎時、もしくは担当者会議にて、情報を共有する様にしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	学校、保護者と連携し、看護師と一緒に受入している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互共有に努めているか		○	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している等しているか		○	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		別府発達医療センターの施設支援を行なった。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	長期休暇、高校生のボランティアの方との交流。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		施設長が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	市からの委託を受け、ペアレント・プログラムを行なっている。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行なっているか	○		重要事項説明書・契約書に記載し、契約時に説明を行なっている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		親子イベントを行ない、保護者同士が交流できる場を設けている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		職員間で話し合い、その都度対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		いきいきっ子便りを定期的に発行している。

	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				秀溪会の法人の祭りを行ない、招待している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	職員間では行なってるが、保護者への周知には至っていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか	○			月に1度の避難訓練を行なっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内で虐待委員会を設けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行なうかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在、身体拘束を行なっていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がなされているか			○	母親からの報告により、除去食を提供している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			